

令和4年9月27日

池田市長 瀧澤 智子 様

池田市行財政改革推進委員会
会長 中川 幾郎

令和3年度における池田市行財政改革推進プランⅢの取組状況に関する意見書

令和4年9月8日付け池行革発第2号により本委員会に意見を求められた「令和3年度における池田市行財政改革推進プランⅢの取組状況に関すること」について、下記のとおり意見を提出いたします。

記

(1) 令和3年度における池田市行財政改革推進プランⅢの取組状況等に関する意見

堅実な財政運営により、各改革目標数値が順調に推移していることは評価に値する。

また、報告書についても、これまで改善を重ねてきたことにより、わかりやすいものとなっている。今後も、読み手にとってより一層理解しやすいものになるように、目標数値の推移と併せて今後の課題等を解説したり、個別の取組においてもより具体的に内容を記載するなど、わかりやすい報告書をめざしてさらなる向上に励んでいただきたい。

(2) 今後の行財政改革について

行財政改革というのは、費用を下げていくことに力点が置かれることが多いが、コストダウンばかりを考えるのではなく、今後はパフォーマンスを上げる改革の視点も取り入れるべきである。

また、働き方改革については、今後も改革の柱の一つとしてより推進していただきたい。そのためにも、職員のモチベーション等の現状を定期的に調査・把握し、組織の改善のために役立てていくPDCAサイクルを確立するような取組も必要であると考えます。

最後に、財政状況について、新型コロナウイルス感染症の影響による地方交付税の増額などにより、一時的に好転して見えている側面もある。さらには、公共施設等総合管理計画等に基づく公共施設の更新など、将来的には大型の投資的事業が実施されることも想定されていることから、依然として予断を許さない状況にある。これらを踏まえて、今後も油断することなく、安定した財政運営に引き続き取り組んでいただきたい。